

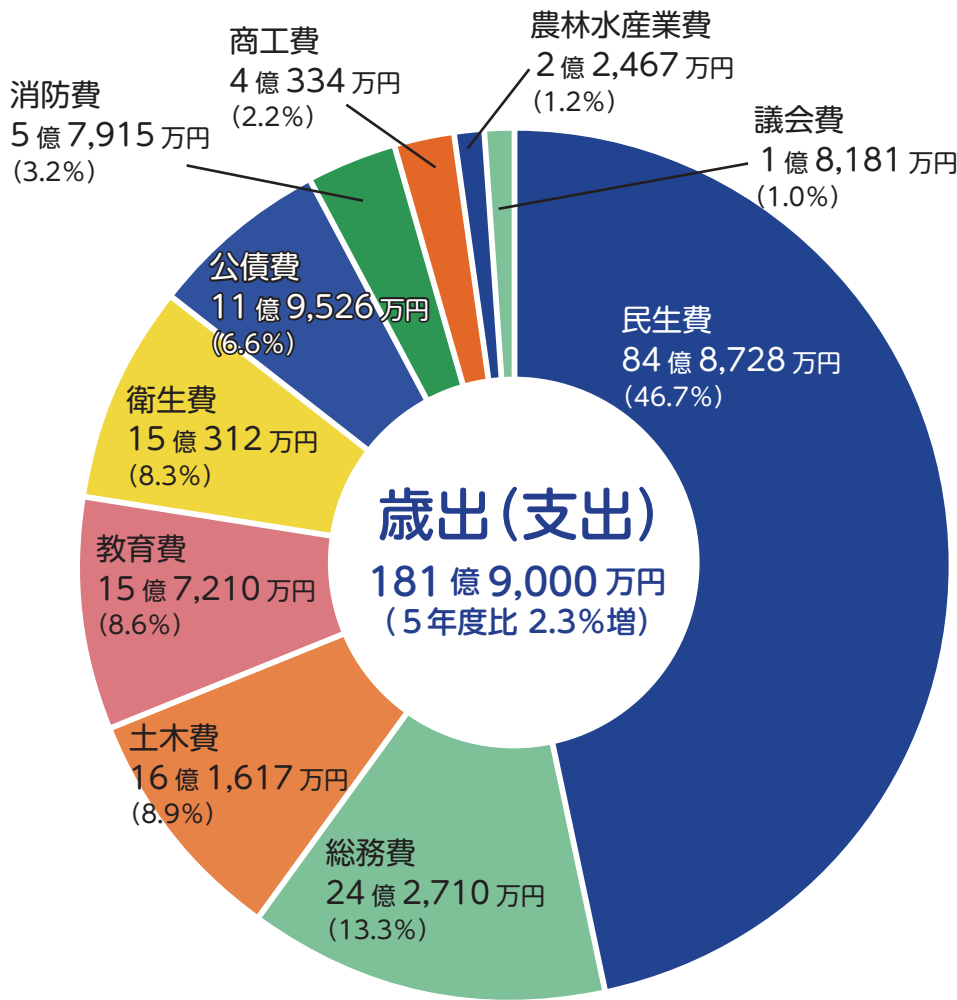
みてみよう ～令和6年度決算をお知らせします～

お金やその使い道ってとっても重要なことです。でも、市の財政というと、「用語が難しい」、「数字の規模が大きくてピンとこない」というようなイメージをもっている人もいるのではないのでしょうか。

今回は、令和6年度の一般会計の決算について分かりやすく皆さんにお伝えします。

※より身近なものに感じていただくため、決算額を市民一人当たり換算しています。

市民一人当たりの決算額は、それぞれの決算額を年度末現在の人口（令和7年3月31日現在 47,700人）で割った額です。



歳出の特徴

市は、子育て中の家族や年をとったお年寄りを助ける仕事にたくさんのお金を使っています。このお金を「民生費」と呼びます。民生費は、市が使うお金の中でとても大きな部分を占めていて、年々増えています。

また、道路や公園を作ったり直したりする「土木費」や、学校をよくするための「教育費」にもたくさんのお金を使っています。

Q ほか かいけい 他の会計もあるの？

A 市の仕事は幅広いので、お金の使い方をより分かりやすく整理するために、一般会計以外の特別な会計も設けています。例えば、皆さんの健康を守る国民健康保険や、お年寄りの介護を支える介護保険などの特別会計、生活に欠かすことのできない水や排水にかかる上水道事業と公共下水道事業の企業会計があります。

市民一人当たり歳出額 38万1,342円

- 民生費** 17万7,930円
…児童・高齢者・障がい者の福祉、医療や保険、生活保護などにかかる経費
- 総務費** 5万883円
…人事、広報、デジタル化、選挙、戸籍、徴税、防犯、防災などにかかる経費
- 土木費** 3万3,882円
…道路や橋、公園、下水道の整備などにかかる経費
- 教育費** 3万2,958円
…学校や図書館、スポーツ振興などにかかる経費
- 衛生費** 3万1,512円
…保健事業や環境、清掃などにかかる経費
- 公債費** 2万5,058円
…市が国などから借り入れたお金の返済に充てる経費
- 消防費** 1万2,142円
…救急や消防などにかかる経費
- 商工費** 8,456円
…商工業、観光、消費者行政などにかかる経費
- 農林水産業費** 4,710円
…農林水産業の振興などにかかる経費
- 議会費** 3,811円
…議員報酬や議会運営にかかる経費

特集 岩倉市の決算を

引き続き物価高騰対策事業により
過去3番目に多い決算額に



市民一人当たり歳入額
39万5,040円

- 市税 14万8,800円
…市民の皆さんからいただく市民税
や固定資産税、軽自動車税など
- 地方交付税等交付金
9万7,393円
…行政サービスを等しく提供できる
よう国から交付されるお金など
- 国庫・県支出金
9万5,874円
…特定の事業に対して、国・県から
交付されるお金
- その他収入
4万7,369円
…前年度に残った繰越金や基金からの
繰入金、財産収入、寄附金など
- 市債 5,604円
…市が行う事業の財源として、
国などから借り入れるお金

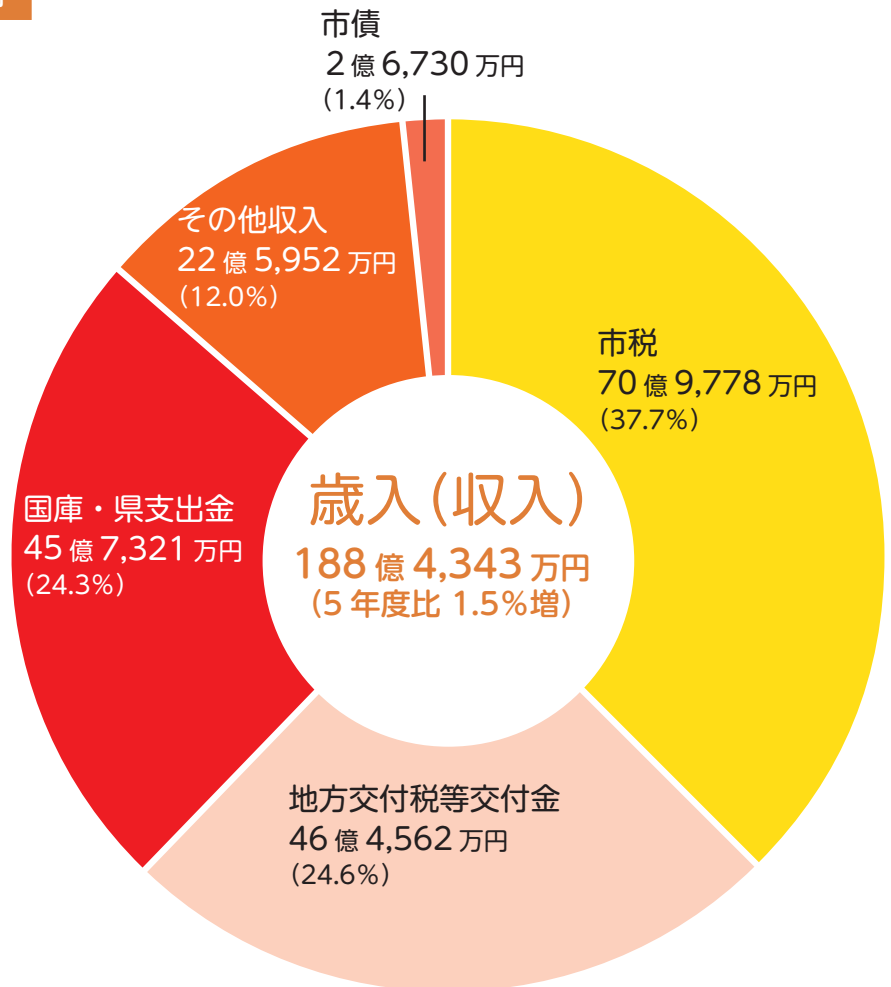
令和6年度一般会計決算

最終予算額 191億4,166万円

歳入決算額 188億4,343万円

歳出決算額 181億9,000万円

実質収支額 6億2,861万円（黒字）



歳入の特徴

市税が大きな割合を占めています。その中でも固定資産税が41.8%を占めており、安定した収入源となっています。

Q

予算や決算ってよく聞くけど何なの？

A

予算は市の1年間における収入・支出の見積であると同時に支出額と支出の内容を決定する重要な役割をもっています。予算は、市長が議会に提案し、議会の議決によって成立します。対して、決算はお金の収支の結果です。

Q

一般会計って？

A

皆さんの日常生活に直接関わる基本的なサービスを行うための会計です。例えば、学校の運営、公園の整備、ごみの収集など、市民の皆さんが利用するサービスは、この会計で運営されています。

もっと教えて！ お金の使いみち

令和6年度決算のうち、皆さんの生活の身近な経費や第5次総合計画の5つの基本目標に沿って実施事業をピックアップしました。

健やかでいつまでも安心して暮らせるまち（健康・福祉）

- ・おたふくかぜ・インフルエンザ予防接種費用助成事業 429万円

経済的な負担軽減や発症予防等のため、特定の年齢の人を対象にインフルエンザ予防接種やおたふくかぜの予防接種について費用の一部を助成しました。



- ・ひきこもり支援事業 31万円

令和6年度から、18歳までのひきこもり状態にある人や不登校児およびその家族を対象とした居場所（サロン）の運営や相談対応を行いました。

個性が輝き心豊かな人を育むまち（子育て・教育・文化・スポーツ）

- ・五条川小学校区統合保育園整備事業 1億5,740万円

令和9年4月開園に向け、建設に必要な宅地造成および建物の図面の作成や畑田遺跡の発掘調査の実施、保育園の建設に支障となる水路について移設工事を実施しました。

- ・小中学校第3子以降学校給食費無償化事業 1,197万円

第3子以降の児童生徒の給食費を無償化の要件を拡大し、より多くの世帯に対して支援しました。



利便性が高く魅力的で活力あふれるまち（都市基盤・産業）

- ・旭跨線橋下西自転車駐車場自転車ラック設置 163万円

旭跨線橋下西自転車駐車場に自転車ラックを設置し、収容台数を確保することで、歩行者の安全確保の面から課題となっていた岩倉駅西第2自転車駐車場を廃止しました。



- ・桜まつり事業 2,164万円

5年ぶりとなる桜まつりを開催しました。開催時間の短縮や、露店の出店場所を八剱憩いの広場と東町休憩所へ移設し、夜桜のライトアップを八剱橋から彦太橋までの区間へ延長するなどの見直しを行い、大いに賑わいました。

環境にやさしい うるおいあふれる安全なまち（環境・防災防犯）

- ・公共施設照明設備LED化事業 363万円
(10年リース総額4億3,617万円)

市役所、全小中学校など19の公共施設の照明設備をリース方式によりLED照明に更新し、温室効果ガスの排出抑制や省エネルギーの推進を図りました。

- ・災害対応特殊救急自動車購入事業 3,297万円

救急の高度化と増加傾向が続く救急需要に対応するため、更新計画に基づき、災害対応特殊救急自動車を購入しました。



協働と自治による持続可能なまち（協働・行財政運営）

- ・税証明コンビニ交付サービス事業 770万円

全国のコンビニエンスストア等で住民票の写し、印鑑登録証明書に加え、新たに所得証明書、課税証明書、納税証明書が取得できる環境を整備しました。



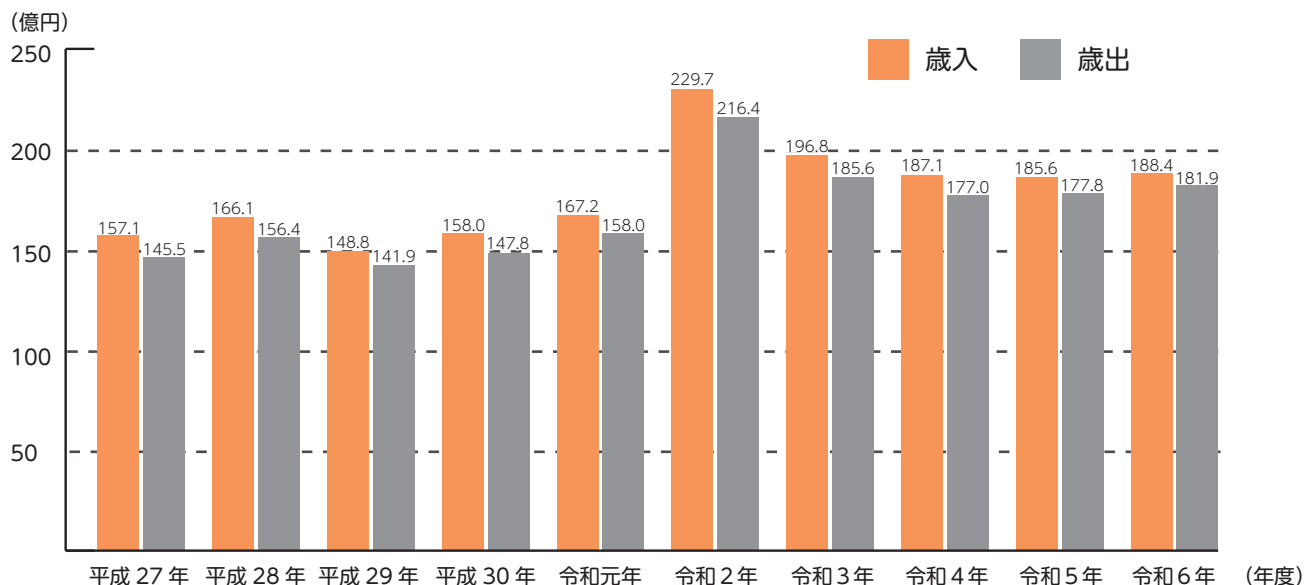
- ・公共施設予約システム更新・電子錠導入事業 1,290万円

公共施設予約システムを更新し、対象施設の拡大、キャッシュレス決済対応を実現しました。また、管理人が常駐していない施設に、予約システムと連携してパスワード等で開錠ができる電子錠（スマートロック）を導入しました。

主な物価高騰対策事業

- ・物価高騰対応支援給付金給付事業 1億1,545万円
- ・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援追加給付金給付事業 1,079万円
- ・物価高騰低所得世帯支援給付金給付事業 1億666万円
- ・保育所等給食費支援事業 578万円

一般会計歳入歳出決算額の推移



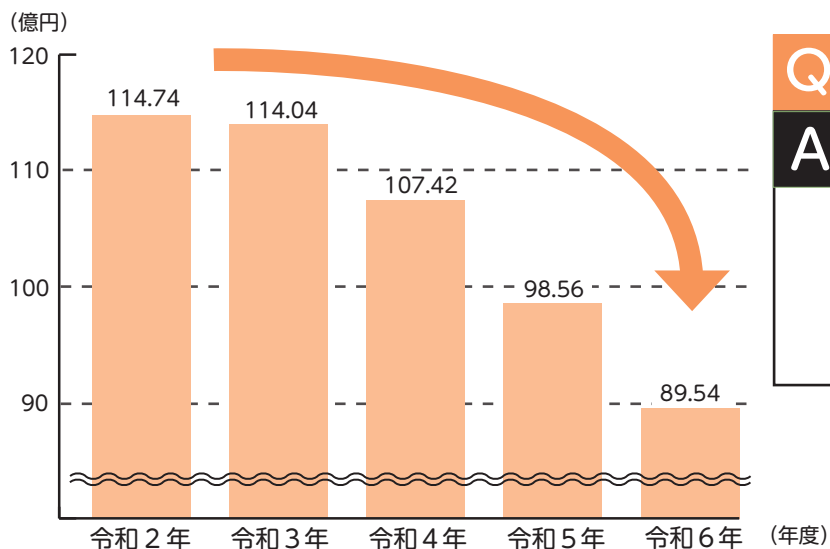
過去 10 年の一般会計歳入歳出決算額の推移を見ると、令和 3 年度以降と令和元年度以前とで比較すると歳入、歳出ともに約 20 億から 30 億円程度増加した水準で推移しています。これは新型コロナウイルス感染症への対応や物価高騰などによる生活支援策の実施、原材料価格・物価高騰、賃金の上昇に伴う経費や人件費の増加などが主な要因となっています。

※令和 2 年度は国民 1 人あたり 10 万円を支給した定額給付金事業（総額約 48 億円）により歳入歳出決算額が例年より突出して大きくなっています。

市債（借金）残高の推移

減少しました

令和 6 年度末 市債残高 89 億 5,425 万円（市民一人当たり 18 万 7,720 円）



Q 借金しても大丈夫なの？

A 借金と聞くとあまりよくないイメージがあるかもしれませんが、例えば、学校や公園などは長い間使うものです。そのため、今の人だけでなく、未来の人たちにも少しずつ支払ってもらうことで、公平に費用を負担してもらうという役割があります。

過去 5 年の市債残高の推移を見ると、減少傾向にあります。これは、市債の発行額が元金の償還額（借金の返済費用）を上回らないよう努めてきたことによるものです。今後も市債に頼りすぎることのない健全な財政運営をしながら、将来世代へつなぐための事業を進めていく必要があります。

基金（貯金）残高の推移 増加しました

令和6年度末 基金残高 33億193万円（市民一人当たり 6万9,223円）

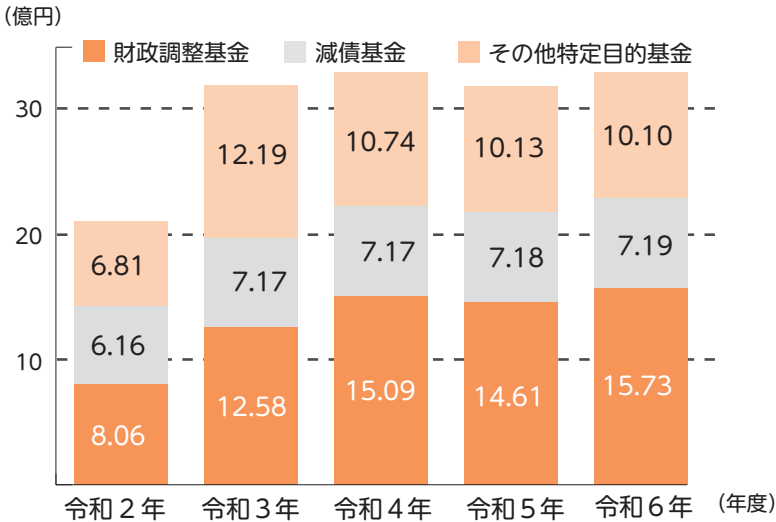
令和6年度は、複数ある基金の残高の総額が増加しました。主なものとして、財政調整基金では、五条川小学校区統合保育園整備事業などに充てるため1億9,000万円を取り崩しましたが、年度末の収支状況などから約3億円を積み立てたことにより増加しました。今後も、緊急時などに備え、計画的に運用していくことが重要となります。

Q

どうして貯金が必要なの？

A

貯金が少ないと災害など急な出費に対応できなくなったり、将来支出への不安が生じたりするため、計画的に積み立てておくことが必要になります。岩倉市は、昭和40年代から50年代にかけて建設した学校や保育園などの公共施設が多く老朽化が進んでいます。そのため改修や更新に多くのお金が必要になります。



用語解説

財政調整基金…各年度間における財政調整のための基金

減債基金…市債の償還に充てるための基金

其他特定目的基金…公共施設整備基金やふるさとづくり基金、さくら基金など特定の目的に充てるための基金

健全化判断比率 健全な状況を維持しています

地方公共団体の財政運営の健全度を示す指標として、以下の5つの指標を公表することが法律で定められています。どの指標も数値が低いほど健全度が高い(良好)とされており、各比率が基準を超えた場合は、財政健全化計画や財政再生計画を策定し、健全化に取り組まなければいけません。

実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は、これまでと同様にいずれの会計においても赤字が生じませんでした。

実質公債費比率（借金返済額／年収）や将来負担比率（借金総額／年収）は、若干数値は上昇しましたが、健全な状況が保たれています。

令和6年度健全化判断比率

指標	指標の意味	岩倉市 ※カッコ内は 前年度数値	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計等における財政運営の悪化度合いを示す指標	赤字なし	13.21%	20.00%
連結実質赤字比率	地方公共団体全体の財政運営の悪化度合いを示す指標	赤字なし	18.21%	30.00%
実質公債費比率 ※3カ年平均値	実質的な公債費による財政負担の程度を示す指標	4.2% (3.8%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標	6.4% (4.0%)	350.0%	-
資金不足比率	公営企業の経営状態の悪化度合いを示す指標	資金不足なし	経営健全化基準 20.0%	-

市ホームページでは、例年予算や決算、新規・主要事業の詳細などのほかに、市の資産がどのくらいあるのか、行政サービスにどのくらいのコストがかかっているのかなどを示す固定資産台帳や財務書類を掲載しています。

●問合先 企画財政課財政グループ（☎ 38-5805）